

問1 石狩川はかつて、平野部で非常に激しく蛇行して流れており、大雨のたびに深刻な洪水被害をもたらしていました。この問題を解決し、土地を有効活用するために明治時代以降に行われた河川改修工事の内容と、その後の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 川の流れをせき止める巨大な多目的ダムを平野部に連続して建設し、水力発電による電力を周辺のアルミニウム工場に供給するようになった。 | 2. 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。 | 3. 川底を大幅に掘り下げて水深を確保する工事が行われたことで、日本海側から内陸部まで大型の貨物船が航行できる運河として整備された。 | 4. 川の周囲に堤防として大規模な防風林を設置し、冬の北西の季節風による農作物への塩害を防ぐことで、畑作が中心の地域となった。 |
|---|---|--|---|

問2 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。

(2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 輪作 | 2. 開拓 | 3. 客土 | 4. 干拓 |
|-------|-------|-------|-------|

問3 日本の積雪寒冷地では、道路の上方に下向きの矢印が描かれた標識が設置されていることがあります。この標識を設置する主な目的として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 吹雪や積雪によって路肩の境界が見えなくなるのを防ぎ、道路の端を示すため | 2. 野生動物が道路を横断する可能性が高い地点であることを警告するため | 3. 除雪車が雪を捨てる場所を指定し、作業の効率化を図るため | 4. 急な上り坂が続くことを運転者に知らせ、低速走行を促すため |
|--|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|

問4 北海道二セコ町において、飲食業や宿泊業の就業者割合が主な産業の中で最も高くなっている主な理由として、適切なものを選びなさい。

(2026年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。 | 2. 夏場に大規模な農作物の収穫体験を行うため、世界中から農家や観光客が集まり宿泊施設を長期間利用するため。 | 3. 年間を通じて温暖な気候を利用したリゾート開発が進み、国内外からの定住者が急増して一次産業を支えているため。 | 4. 豊かな森林資源を活かした木材加工業が発達し、それに伴う作業員の長期滞在用宿泊施設が増加しているため。 |
|---|--|--|---|

問5 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。

(2021年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。 | 2. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。 | 3. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。 | 4. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。 |
|---|---|---|---|

問6 北海道東部に位置し、広大な土地を活かしてジャガイモ、小麦、てんさい（ビート）、豆類などを大規模に生産している、日本を代表する畑作地帯の名称を選びなさい。

(2024年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石狩平野 | 2. 庄内平野 | 3. 十勝平野 | 4. 根釧台地 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 知床で行われている、自然環境の保全と観光利用の両立を目指す「エコツーリズム」の考え方に基づいた具体的な取り組みとして、不適切なものとはどれですか。

(2022年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 自動車による排気ガスや騒音、渋滞を抑えるために、一部区間で車両の乗り入れを規制する。 | 2. 自然環境を保護しつつ、さらに多くの観光客を誘致するために、山頂まで通じる新しい高速道路を建設する。 | 3. 地域の自然に詳しいガイドが同行し、ルールを守りながら自然を深く理解してもらうツアーを実施する。 | 4. 希少な植物を踏みつけないよう、散策路を限定したり木道を整備したりする。 |
|---|--|--|--|

問8 2001年から2018年にかけての北海道の酪農に関する統計では、飼育戸数が9640戸から6140戸へと大幅に減少する一方で、生乳生産量は3640.7千㍏から3965.2千㍏へと増加しています。また、100頭以上の牛を飼育する戸数や搾乳ロボットの導入数も大きく伸びています。このような北海道の酪農で見られる変化の説明として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 環境保護の観点から機械の使用を制限し、1戸あたりの飼育頭数を減らす取り組みが進んでいる。 | 2. 乳製品の需要低下に合わせ、手作業を中心とした小規模な家族経営への転換が進んでいる。 | 3. 飼育戸数の減少に比例して全体の生産量も減少し、酪農から畑作への転換が進んでいる。 | 4. 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。 |
|---|--|---|---|

問9 北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 内陸のため夏は比較的气温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため | 2. 季節風の影響で一年中雨が多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため | 3. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため | 4. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため |
|--|--|---|---|

問10 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何といいますか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-------|
| 1. 施設園芸 | 2. 果樹栽培 | 3. 稲作単一経営 | 4. 酪農 |
|---------|---------|-----------|-------|

問11 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。

(2016年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 自然環境を保護するために、市街地の面積を昭和初期の規模にまで縮小させたため。 | 2. 交通網の衰退により、郊外からの人口流出が激しくなり、土地が放置されたため。 | 3. 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。 | 4. 食料自給率を向上させるために、都市部の建物を壊して農地を拡大する政策がとられたため。 |
|---|--|--|---|